

「荒川・下水道フェスタ2019」活動報告

埼玉県と埼玉県下水道公社の主催による「荒川・下水道フェスタ2019」が、10月5日（土）に荒川水循環センター（埼玉県戸田市）で開催され、NPO 21世紀水倶楽部（以下、当会）と水コン協関東支部との共催でブースを出展した。当会から6名、水コン協関東支部から4名がブースを担当した。当日は天候にも恵まれ会場には地域の人達を中心に4,030人が訪れた。当共催ブースは「反応タンクの模型による微生物探し」を企画し680人の方に楽しんでもらった。

ブースでは下水道の説明として「下水処理のしくみ」の大型パネル1枚と当会の活動報告パネル1枚、活性汚泥微生物の「奇跡の一枚大募集」の特選作品を含む写真パネル3枚、水コン協関東支部ではコンサルタントの魅力を紹介するパネルやポスターを展示した。

今回の企画では、微生物が下水処理に大きな役割を果していることを理解してもらい微生物を身近に感じてもらうために反応タンクの模型を2個製作し、模型上部にある二つのレンズの穴から中を覗いてもらい（顕微鏡のように）中に見える微生物の画像がクリアファイルに掲載されている9匹の微生物のどれかを当ててもらうものであった。意外にも幼稚園児ぐらいの小さい子がズバリと四匹全ての微生物を当ててスタッフが驚かされる場面が何度かあった。また子どもや大人達から”おもしろい”といった感想をもらった。微生物の名前を当ててくれた方に景品として、微生物コースター（奇跡の一枚特選作品）と昨年に続き会員手作りのミニひょうたんを用意し好きな方を選んでもらった。ミニひょうたんは人気が高く用意した80個は2時間程度でなくなった。また微生物コースター600枚も午後3時過ぎにはなくなり大盛況であった。



覗いて見えた微生物はどれかな！！



子どもや大人達も熱心に参加



水倶楽部と水コン協関東支部共催のブース



荒川水循環センター会場の様子